喝破だより
四恩の里

喝　破　五　訓

一、よろこんで与える人間となろう
一、いのちを大切にする人間となろう
一、心静かに考える人間となろう
一、使命に生きる人間となろう
一、規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

発　行　公益財団法人 喝破道場　社会福祉法人 四恩の里　宗教法人 報四恩精舎　発行者　野田 大燈
住　所　〒761-8004　高松市中山町1501番地9　TEL 087-882-4022　FAX 087-881-5906　一部500円
E-mail　kappa@kappa.or.jp　URL https://www.kappa.or.jp　郵便振替口座　徳島　01630-6-9731

巻頭言

良寛さまと禅師さま
―百花繚乱、赤は赤く白は白く―

― 玉島円通寺の良寛和尚像 ―

「良寛さん」と聞けば子供たちと手毬をついたり、かくれんぼをしたりして子供たちと夕暮れまで遊んでいる坊さん、と思い浮かべるのではないでしょうか。

私もそのような理解のもとで「なんて暇な坊さんなのだ。もっと禅僧として世に関わる仕事があるだろうに」と思っていました。

ある講演会で良寛さんの話が出ました。

当時、良寛さんの産まれ育った新潟地方は毎年の冷害や旱魃などの自然災害で困窮の極みにあったようです。その一家の窮状を助けるために子供達は売られて行ったそうです。

良寛さんはその過酷で抗する事の出来ない子供たちに、せめて売られて行く前に、幼き頃の楽しい思い出を作ってやりたい、と悲しみの涙を押さえて手毬をしたりかくれんぼをした、と言うのです。

私はその話を聞いて愕然としました。

子供たちと少しでも多くの時間をとるために、僧侶としての世界に背をむけて良寛さんは全てを犠牲にして生きたのでしょう。

人は得てして他人に良く評価されたい、経済的に優位にいたい、等と考えがちですが、良寛さんの欲は子供たちに幼き頃の暖かく楽しい思い出作りに没頭することだったのでしょう。

十八才で出家して瀬戸の港町玉島の圓通寺での十数年、当時の圓通寺は曹洞宗門に於ける代表的な叢林だと評される本筋の修行道場のようでした。

良寛さんが師の國仙和尚に「如何なるか和尚の家風」と問うと「一に曳石、二に搬土」と答えたように禅門古風の方であられた。

その國仙和尚の薫陶を受けたが故の故郷での振る舞いであったのでしょう。

師の國仙和尚の跡を継いだのは、玄透即中和尚でした。

その後に竜穏寺に晋山するが、乞われて永平寺五十世として晋山されました。

当時永平寺は天明六年の回禄(火災)により、伽藍は消失し住職も不在と言う疲弊のどん底状態にありましたが、自ら托鉢の寄付勧募の先頭に立って伽藍復興に身命を捧げ遂に復興を成し遂げられたのです。

共に圓通寺と言う修行道場に縁を持ちながらも、方や子供達と手毬を突いて遊ぶ良寛さん、そして方や火災に依って伽藍の全てと住職まで不在の大本山永平寺を復興なさしめた玄透即中和尚。

人は「良寛和尚こそ真の禅僧」と言い「玄透即中和尚こそ真の禅僧」と言うご仁もおられます。

では良寛和尚は玄透即中和尚に代わって永平寺を復興出来ただろうか……？

玄透即中和尚は良寛和尚に代わって子供たちと極貧の中で遊び得たろうか…。

私は否と思います。

良寛和尚だからそ子供たちと遊び得たし、玄透即中和尚だからそ回禄で消滅した永平寺を蘇らせ得たと思います。

共に慈悲心に裏打ちされた仏行だと思います。

玉島の小さな僧堂ではありながらそこで修行した雲水は共に釋子、悟れば百花繚乱の花盛りです。

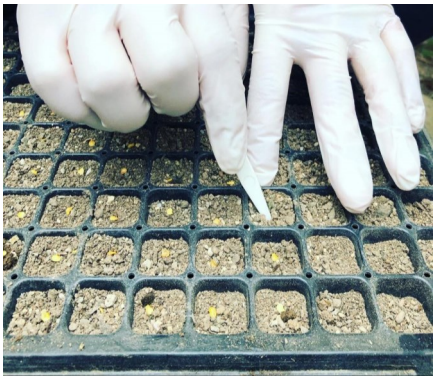
―大燈記―

自立塾（一七四）

―春うららかに―

種まき

香川本鷹の種まきを行いました。今年は昨年収穫し種取りをした物と、県保有種子の両方をセルトレイに蒔きました。



一種一種丁寧に

平成二十八年から香川本鷹の栽培を始めて六年目になります。初年度に頂いた種子から栽培し、毎年種取りをして栽培していました。香川本鷹の特徴は実の長さが７～８センチと大ぶりなのですが、初年度と比べると全体的に少し小さいです。土の栄養や水分、日照時間も関係していると思いますが、種取りした種にも原因があるかもしれないので、今年度は県保有種子との両方で栽培をし、生育や実なりに違いが有るのかを検証したいと思います。

香川本鷹の種取り

三月三〇日現在まだ発芽していませんが、四月上旬に発芽し五月末に畑へ植え付ける予定です。今年も豊作になるよう願いたいです。

春彼岸法要

二〇日に報四恩精舎本堂にて春彼岸法要を執り行いました。

全員ご焼香

三月号の喝破便りに彼岸法要の申込書を同封させていただきました。お申込み頂いた方、参列された方誠にありがとうございました。

お彼岸は、春分の日を中日とし前後三日を合わせた七日間にお寺の法要やお墓参りに行きご先祖様や自然に感謝をささげる行事です。

喝破道場の塾生たちも法要に参列し、一緒に読経とご焼香をしました。ご先祖様を供養し、家族の健康と自身の自立と安定した生活を願いました。

お花見

今年の桜の開花は例年よりも早いとニュースで流れていましたが、五色台の桜も同様に三月下旬で満開を迎えました。二十七日のお昼にハーブ園のヘリポートで皆とお花見をしました。

山桜とソメイヨシノを見ながら

心地良い天候の下で桜を見ながら美味しいお弁当を頂きました。良い思い出になった事でしょう。

頑張れ!!『自立塾』
私達も応援しています。

蛻変（ぜいへん）の経営
大坂塾

http://www.osaka-juku.com/
本社オフィス
東京都江東区有明1-4-11-3217
TEL/050-5505-1006
香川オフィス
香川県高松市番町4-2-19
TEL/087-863-6888

『喝破道場』
私達も応援しています！

株式会社ギフトグッズ
香川県高松市六条町1205-1
Gift Goods
株式会社ギフトグッズ
TEL　087-814-4990
FAX　087-814-4991
新しい世界を楽しもう

ハーブ園便り

長くて寒い冬を辛抱して訪れる春は気持ちが高まりますね♪

ハーブ園では至る所に春を感じ取れます。

まずは、何といっても【山桜】でしょう。

五色台には多くの山桜が自生しています。多く自生しているものの以前は目立ちませんでしたが、松くい虫で松がどんどん枯れていった為、山桜が目立つようになりました。

京都の嵐山や奈良の吉野山など各地に名所がありますが、五色台の山桜も負けていません。

山桜は開花とともに若葉を開くのが特徴で、ソメイヨシノのようにピンクに染まるわけではありません。花は直径３センチほどで、色は白が基本ですが、ほんのりとピンク色を帯びるものもあり、実生によって自然に変異したバリエーションがあります。大きな山桜だと高さは２０ｍを超す大木もあります。

次は【ローズマリーの花】です。

２月の下旬ころから蕾を付けだし、３月下旬にはローズマリーの薄い青色が一面に咲きます。

ローズマリーは春から秋にかけて開花しますが、春の時期が一番花を咲かせます。

ローズマリーはとても品種が多く、種類によって青から青紫、またはピンクの小さな花を咲かせます。ローズマリー・ホワイトは白くて小さな花を沢山つけます。ローズマリー・マジョルカピンクは名前通りピンク色の花をさかせます。五色台ハーブ園で育てているローズマリーはマリンブルー、モーツアルトブルー、トスカナブルーの３種類です。どれも青い花を咲かせます。３種類とも出荷をメインに栽培しているので葉付きが良く、冬の寒さにも強い品種です。

この時期は山桜のピンクとローズマリーの青のコラボとても綺麗で写真映えします。

見る者を圧巻する山桜とローズマリーは五色台ハーブ園でしか見る事が出来ないでしょう。

また、春を代表する【つくし、わらび、タラの芽、蕗の薹】等々探せば沢山あります。

五色台で春を感じてみませんか。山桜は４月の２週目までが見頃です。ご来園お待ちしております。

『自立塾』
私達も応援しております。

基調講演

大燈和尚が、東京農業大学世田谷キャンパスにて、「人間・植物関係学会、日本園芸療法学会合同国際シンポジウム二〇一九年度大会」の開催に際して行った基調講演の内容を掲載させていただきます。

花無心（十）
―連綿の生命に目覚めるとき―

野田　大燈（曹洞宗僧侶）
公益財団法人喝破道場理事長

また、子供たちとかくれんぼや手毬をついて遊んだと言う良寛さんは私と同じ曹洞宗のお坊さんで、越後の庄屋の息子さんだったのですが、どうもこの人も今様に言うと引き籠りだったらしいですね。この方が、『花無心』という詩を作っております。「花　無心にして　蝶を招き、蝶　無心にして　花を訪ぬ．花　開くとき　蝶来たり、蝶　来たるとき花開く。吾もまた　人を知らず。人もまた　吾を知らず．知らずして帝則に従う。」

生活しておりますと、何か意識をして、例えばここに蝶々がいる。この蝶々を捕まえようとすると絶対に逃げられます。蝶々は私の意識を感じるのですね。蝶々だけじゃなく、蠅だってそうじゃないですか。食卓に来た蠅を捕まえようとすると逃げますよ。しかし自分の意識がその蠅を捕まえよう、蝶々を捕まえようという意識のないときは、手に止まっているじゃないですか。相手とひとつになるとき、素晴らしい出会いが出てくるのではないかと思います。

私も今日は、こうやって一応坊さんの恰好をして参りました。頭も剃って参りました。こんな恰好をするのは年に1、2回しかないのでございます。普段はいつも作業着を着ていますので、坊さんとはとても思えないのでございます。坊さんとして、曹洞宗の禅僧として呼んでいただきましたので禅僧らしくしないといけないかな、という思いでやって参りました。

私どもの道場は、先ほども申しましたが、自給自足でございます。お寺というものは、やはり需要と供給がございます。仕事もそうですが、ご存じのように少子高齢がお寺にも影響しておりまして、後継ぎがいないのです。あっちこっちに空き寺が出ております。もしお寺に入りたい方は言って下さい、私がつなぎますから。これはやむを得ません、時代です。そういう中で、お寺のお坊さんはお葬式、法事を生業としていましたが、その対象たるお檀家さんが減少しています。収入も減ってきます。お寺さん自体がこれからは、本当に変わらなきゃいけない時代なのです。今までは亡くなった人を対象としていましたが、本当に僧侶の面目たる生きた人と関わっていかないといけないと思います．如何に変っていくか、これが我々僧侶に課せられた使命じゃないかと思います。

臨済宗では「公案」ということを言います。公案というのは問題集のようなものです。このことについて考えなさい、とテーマをくれる、そのテーマについて一生懸命考える、考えて、考えて、答えを出すのです。私どもの曹洞宗というのはその真逆で「只管打坐」と言います。何にも考えないのです。同じ禅宗でも片一方は何も考えない、片一方は問題に100％取り組む、全く真逆ですね。でも、気が付いたのは「あっ、同じなのだ」と言う事です。

例えば、ひとつのコップにビールをなみなみと注ぎたいと思います。しかしそのコップに少しでも水が入っていたならばビールだけで満たすことは出来ません。そのビールをなみなみと注ごうとすると、そのコップを空にしなければ100％のビールは入らないのです。つまり100％に満たすには元は空でなければならないのです。「空（くう）」と言いますが、「実」と全く逆なのです。こういうことを私は修業を通しながら教えて頂きました。ああ、そうなんだな、私たちは切り替えが出来なければならない、ある時はゼロになり、ある時は100になる。これが自由自在にできた時に、私たちの考え方と行動が変わっていくでしょう。

そして我々の福祉、就中児童施設での仕事は、生きた人、更には様々な障害のある人とどうやって関わっていくか、支援をしていくか、という風に取り組んで行くことが私の修行でもあるのですね。

時間が参りましたので、私の中途半端な話ですけれど、終えさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

―了―

〈バンブーダンス〉

安部麗子

ミカちゃんが子犬のスマッシュと一緒に光が丘公園に行くと、読売ジャイアンツの野球帽に、紫色のスタジャンを着た大男に連れられて、五頭のハスキー犬がやってくるのが見えます。

犬達は、大いばりで辺りを睨み付けています。

引き綱を束ねているおじさんも、犬達に負けず劣らずどう猛な顔をしています。

この一行を見かけると、犬を連れた人たちは、急に用事を思い出して、横道にそれるのです。

ミカちゃんも大急ぎでスマッシュにリードをつけようとしますが、首輪を掴まれるより一瞬早く、林の中に逃げ込まれてしまいます。

公園の林は薄暗く、オバケが出そうです。

低い柵に囲まれて、立ち入り禁止の看板が立っていますが、スマッシュを連れ出すちょっとの間だけなら、管理人のおじさんも目をつぶってくれるでしょう。

初めて入った柵の中は、薄暗い丘です。見た事もない木や草がいっぱい茂って、テレビで見るジャングルのようです。

何とか道らしい所を選んで登ってゆくと、カッカッカッカッと、何かを打ち鳴らす音が聞こえてきます。

初めはかすかに、だんだん大きく、大きく大きく、やがてすごく大きくなって…

小さな空き地に出ます。

二羽の野ウサギが青竹を打ち合わせ、別の一羽がその中でダンスを踊っているのです。

驚いた事に、スマッシュが順番を待ってウロウロしています。

「スマッシュ！」ミカちゃんが叫ぶと、みなこっちを見たまま、凍り付いてしまいます。

「シアパナマ、オランイトゥ？」ウサギがスマッシュにききます。

「ナマディア、ミカ。ペレンプアンバグス」スマッシュが答えます。

ウサギ達はそれを聞いて、ほっとしたようにうなづきあい、ミカちゃんに「アパハバ？」と声をかけます。

「ハババイク、テリマカシ、とお言いよ」と、スマッシュが教えてくれます。

「ハババイク、テリマカシ」ミカちゃんが言います。

「サラマトゥ、テンガハリ！」

「サラマトゥ、テンガハリ！」

きっと「こんにちは！」ですね。

それからみんなでバンブーダンスを踊ります。

ふしぎ！

初めてでも上手に踊れるし、言葉も解ります。

「ウサギさん、どちらから？」

「遥かな南のお国から」

「まあ、何をしにはるばると？」

「六本木という町のペットショップに」

「売られてきたのね」

「そうなんだ。でも船が難破して」

「辿り着いたというわけね」

ウサギ達は騙されているのです。

ペットショップは天国のような所だと。

ミカちゃんがいくら説明しても聞きません。

そこで、「大江戸線に乗るものこの指止まれ」と人さし指に止まらせて、「ペルグリサマ！」と唱えると、あら不思議。みんなは大江戸線の中です。

乗客は、大人も子供も携帯電話をのぞいています。

化粧に夢中の娘さん。

カラスのようにグァグァグァと大笑いしているオバサン達。

短い足を投げ出して、長く見せようとしている若者は、とうとう座席からずり落ちます。

ミカちゃんは、こんな地下鉄が恥ずかしくてたまりません。

六本木には、きれいな高いビルがいっぱいです。

小さな公園では、洋服を着せられた犬達が、チョコチョコ歩いたり、だっこされたりしています。

犬達は、ミカちゃん達と目があうと、恥ずかしそうに目を伏せます。

ペットショップのウィンドウでは、狭いオリに閉じ込められた犬と猫が、退屈そうに外を眺めたり、ぬいぐるみを噛んだりしています。

どの子も可愛く清潔で、うつろな目をしています。

ウサギ達は、やっと騙された事がわかります。

オリのガラスに手を当てて、「ペルグリサマ！」と唱えると、犬と猫も手を当てて「ペルグリサマ！」

次の瞬間には、みんな一緒に光が丘公園のジャングルにいたのです。

みんなで輪になって歌います。

それからまた、楽しいバンブーダンスが始まります。

ミカちゃんとスマッシュが帰った後も、いまでも続いているに違いありません。

了

ひみずの滝（十一）

田中徹矢

「どうした、できないのか」
「いえ、やります。中段突きだけでいいんですか」
「ああ、正拳中段突きを一万本。ただそれだけだ。ただのそれだけ」
平然と愚覚は口にする。
「他の、突きや蹴り、受けなんかはやらなくていいんですか？」
「ああ、中段突きだけでいい。ただし、一本目だろうと、一万本目だろうと常に正しく打つことを心がけよ。それだけだ」
「分かりました」

瞬介はそれ以上、疑問をはさまないことにした。すぐさま三戦（さんちん）立ちの構えを取る。小指から順にたたむように指を折り曲げ、それを親指でギュッと押さえ込んで拳を作りあげた。その拳を前に突き出し、ゆっくりと中段突きを始める。

先ほどの愚覚の指摘を意識し、腰を適正な高さに保つことを忘れなかった。腕の突き出し方、引き手の位置、腰のひねり、すべての動きを正確になぞるようにおこなった。突きは最短距離を最速で、より遠くに拳を飛ばすことを心がける。

しかしそれらを意識できたのも三千本くらいまで。腕が鉛のように重い。疲労が蓄積し、全身が乳酸のかたまりとなる。マラソンを走り続ける気分だ。

五千本を越えたあたりから頭が真っ白になった。のどはからから。Tシャツ、ランニングパンツが汗を吸って体にまとわりつく。

八千本を越える。もはや汗すら出ない。日は傾き、涼風が駆け抜けるが、瞬介が発する熱気を完全に剥ぎ取るまでにいたらない。意識が朦朧とし、周囲が白い靄に包まれる。立っているのがやっと。正しい突き方など、どうでもいい。

愚覚は祠のそばに立ち、瞬介を見守っている。すぐにでも座り込みたいが、自ら師事を願い出た手前、初日から音をあげるわけにはいかない。棒立ちの姿勢で、力のこもらない腕をただ前後させた。最後はまったく突きと呼べないものだったが、なんとか一万本をやり遂げた。瞬介は糸が切れたようにその場にへたり込んだ。どのくらい時間が経過しただろうか。感覚的に二時間くらいか。

「立派にやり遂げたな」
愚覚が瞬介の顔をのぞき込む。
「あっ、はあ、はぁ、はぁ、い、いえ、ぜ、全然、です」
息が切れてうまくしゃべれない。情けないことこの上なかった。しかしなぜか愚覚は微笑んでいる。

「終わったからといって倒れ込むのはよくない。常に心と姿勢を保つことが大事だ。だが、今日ははじめてだからこんなものだろう」
「は、は、はい」
振り絞り、声を出した。
「今日はここまでだ。また明日」
そういうと愚覚は身をひるがえし、渓谷の中へ姿を消した。あっという間だった。
やはりあの人は天狗かもしれない。

瞬介は草を枕にして、仰向けになる。空の濃紺が薄れつつあった。日が暮れかかっている。

一万本突きはかなりきつかった。しかし疲労とは裏腹にやり切った充足感も大きい。ひとりで稽古していれば、ここまで自分を追い込むこともなかっただろう。
ゆっくり起き上がった。ひみずの滝に夕闇が沈み始めている。さあ、暗くならないうちに家に帰ろう。
残照の空で星がふたつみっつ輝いていた。

（つづく）

戴き物一覧

2月21日～3月20日

一　お菓子
香川県高松市
アイゼンはま街道店様

一　和菓子
香川県高松市
㈱かねすえ様

一　讃岐うどん
香川県観音寺市
匿　名　様

ご寄付

2月21日～3月20日

北海道札幌市
夕張市
芦別市
甲斐　敦子様
駒ヶ嶺優子様
永昌寺　様

青森県十和田市
澄月寺　様

秋田県大仙市
大館市
大川寺　様
実相寺　様

宮城県多賀城市
鹿角市
長泉寺　様

山形県天童市
栗原市
玉川寺　様
柳徳寺　様

㈱キンダイ・コミュニケーションズ様

山形県鶴岡市
祐性院　様

西村山郡
布川　昱哉様

最上郡
鮭延　棄童様

飽海郡
妙泉寺　様

東京都江東区
森口　五郎様

大田区
妙安寺　様

杉並区
観泉寺　様

八王子市
東照寺　様

町田市
監物　秀憲様

神奈川県厚木市
齋藤　攻　様

横浜市
舟田　節子様

逗子市
岡田　武史様

神奈川県逗子市
藤沢市
千葉県佐倉市
茨城県水戸市
栃木県足利市
埼玉県さいたま市
群馬県甘楽郡
前橋市
桐生市
長野県佐久市
上田市
千曲市
塩尻市
福井県三方郡
山梨県甲府市
静岡県伊豆市
掛川市
愛知県名古屋市
名古屋市
大阪府大阪市
大阪市
東大阪市
京都府綾部市
兵庫県川西市
丹波市
加古川市
島根県出雲市
岡山県岡山市
広島県中区
香川県高松市
高松市
高松市
高松市
高松市
高松市
間瀬　睦子様
天嶽院　様
梅宮美智子様
天徳寺　様
蜜蔵院　様
高城寺　様
長楽寺　様
隆興寺　様
祥雲寺　様
小林みな子様
信綱寺　様
龍洞院　様
西福寺　様
徳賞寺　様
光福寺　様
修禅寺　様
大雲院　様
祇園寺　様
匿　名　様
仲村　眞　様
㈱ヒーロー様
赤坂　為雄様
隠龍寺　様
大昌寺　様
瑞光寺　様
匿　名　様
薬師寺　様
鹿角　有郷様
㈱ビバ　様
亀田　司　様
山﨑　隆重様
三野容志郎様
中原　元子様
菰田満由美様
有岡　隆　様

高松市高松市
高松市
高松市
高松市
高松市
高松市
高松市
高松市
高松市
高松市
高松市
高松市
高松市
高松市
香川県丸亀市
丸亀市
丸亀市
丸亀市
香川県綾歌郡
香川県観音寺市
香川県さぬき市
さぬき市
香川県東かがわ市
徳島県勝浦郡
愛媛県越智郡
南宇和郡
熊本県球磨郡
鹿児島県鹿児島市
久保　勝美様
稲毛　富子様
小川　勝弘様
筒井　和光様
山内　康伸様
長谷川修一様
高坂久美子様
脇谷小夜子様
辰巳　省子様
鈴木　孫衛様
田中　勉　様
牟禮　昌忠様
大久保鈴江様
川崎　賢治様
野藤　等　様
沼田　博文様
南隆寺　様
匿　名　様
近藤　恒広様
坂本　守　様
橋本　康男様
黒松寺　様
正福寺　様
高木　正夫様
神照寺　様
吉國　重光様

令和２年度（３月20日現在）
ご寄附総額は、
二百五十八万六千五百七十四円です。

皆様方の温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

「喝破道場」ご支援のお願い

平素より公益財団法人喝破道場の活動にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

「禅」を心の拠り所としての活動を展開し、更なる社会貢献を図って参ります。どうぞ本誌のご購読とご寄付によるご支援を賜りたくお願い申し上げます。

ご寄附に対しましては、公益財団法人の活動として租税特別措置法施行令第二十六条の二十八の二第一号に規定する要件を満たしております。「税額控除に係る証明書」が発行されますので、節税としてもご活用下さい。

購読料　年間　五、〇〇〇円
ご寄付　一口　五、〇〇〇円
（一口以上、何口でも結構です）

郵便振替口座　０１６３０－６－９７３１
公益財団法人　喝破道場

賛助広告掲載ご協力のお願い

平素は『自立塾』の活動にご高配を賜り御礼申し上げます。

昭和49年に興されたカッパ禅道場。開山の精神は、自立塾に受け継がれています。揺るぎない思いを胸に今後も活動してまいります。一層のご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

ページの下段一枠
（ヨコ８cm×タテ６cmほど）
年間12回　６０，０００円
受付　０８７-８８２-４０２２

三月の日鑑

8　薬師講
11　イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン参加　於 高松イオン
15　山王小祭
高松市委託就労準備支援事業（毎週木曜日）

四月の予定

8　薬師講
11　イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン参加　於 高松イオン
15　山王小祭
高松市委託就労準備支援事業（毎週木曜日）

大燈和尚三月の日鑑

2　圓通寺「定例坐禅会」
5　亀山学園卒園式
10　サヌカイト搬出の為の伐採工事開始
12　若竹学園今年度最終坐禅会
14　ハーブ喫茶前庭にサヌカイト安置の基礎工事着工
16　社会福祉法人「四恩の里」理事会ズーム会議（亀山学園・圓通寺・各理事執務室）
16　圓通寺「定例坐禅会」
18　圓通寺定例ライブ発信
十三時より
テーマ「迷い込んだ少年」
18　悠遊館展示の和田國坊画伯絵画「河童二双図」を和田國坊資料館に移設

大燈和尚四月の予定

6　圓通寺「定例坐禅会」
7　令和三年度四恩の里新人研修会
於 若竹学園
18　圓通寺定例ライブ発信
十三時より
テーマ「合縁奇縁」
20　圓通寺「定例坐禅会」
22　財団法人タダノ奨学会理事会
於 国際ホテル

20　香川県高齢者協同組合彼岸会法要　於 円通寺
26　若竹学園卒園式
26　財団法人「タダノ奨学会」役員会出席　於㈱タダノ本社「翠峰館」
28　「随流荘」譲渡契約で高知の絆会訪問
31　社会福祉法人「四恩の里」施設管理者会議　於 若竹学園

第五回　圓通寺のフェイスブック動画発信のお報せ

日　時　四月十八日(日)十三時～
演　題　「合縁奇縁」
・「野田大燈　フェイスブック」で検索

QRコード

編集後記

早いもので新年度を迎えました。昨年度は新型コロナウイルス、緊急事態宣言、三密などこれまで体験したことのない事態にどう対応して良いか分からず過ぎ去った一年でした。県外から入塾や見学を希望する方をお断りしたり、お遍路さんの宿泊をお断りしたりと何が正しいのか判断に困る時も多々ありました。

公益財団法人喝破道場は大きく分けて青少年育成事業収益と寄付金によって運営されています。コロナ禍にも関わらず多くの方からご寄付頂きました事、誠に感謝申しあげます。ご寄付と給付金で繋いだ一年でした。

喝破道場の青少年育成事業はニート・引きこもり、生活困窮者の自立を支援する自立塾の運営になります。コロナ禍で余計家から出られなくなったニート・引きこもり者や職を失い困窮している方など困っている方はこの一年で多くいらっしゃります。そんな方の力になるのが喝破道場の本位です。これまで通りの自立塾の体制ではカバーできない事が多くあります。ウイズコロナの時代です。徐々に形態を変え、利用しやすい環境と体制でコロナに負けない一年にします。

―大然後記―

児童施設で働いてみませんか

職　種：管理者候補　医師（精神科医）
心理　保育士　児童指導員　事務員
勤務先：四恩の里 本部
児童心理治療施設 若竹学園
児童養護施設　亀山学園
自立援助ホーム　なごみハウス圓

連絡先　：香川県高松市中山町1501-192
社会福祉法人四恩の里 本部 ☎087-816-1380
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ: 4on@4on.or.jp　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://4on.or.jp